

2016年7月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時
2016年7月 2日(土) 10:00~16:00

2. 開催場所
中部品質管理協会

3. 参加者<敬称略>出:出席、欠:欠席、書:書記、休:休会

井上	出	大見	出	牧野	出	横尾	出	山口	出	杉浦	出	梅本	出	林	欠	佐藤	出
則尾	出	伊藤	出	舟山	出	城越	出	雲丹亀	欠	三浦	出	池田	休	森	休	合田	出
石上	出																

4. 研究会のテーマ

①MT法システムの計算方法

・MT法の従来計算方法では、信号データの検出感度の低い場合があった。今回主成分分析の方法と、MT法、RT法をつなぎ合わせて、検出感度を高める方法について、相談した。

②テーマ相談

・品質工学の会社内への普及の相談。

③輪読 ・第1章 社長のコストを下げよ。 伊藤さん

・今月より、品質工学論説集 第3編に入った。まず、第1章の、“社長のコストを下げよ”を、伊藤さんが、主となり、輪読を実施した。

田口先生が、生前より社長のコストを下げよと言われていたが、社長の給料を下げよと、言っているのではなく、企業は、利益を上げることが目的で有る。目的を達成する手段に品質があるが、品質の一部を、スピードアップに使用する方法について、紹介があった。

④事例相談

・ペット用品の開発について相談した。

・多岐に渡る要求品質は、重要度を絞りに込む方法のアドバイスを受けた。

・市場調査はアンケート以外に売上ランキングをMTシステムで解析する提案を検討する。

⑤機能性評価の紹介 牧野

・機能性評価の方法について、牧野の事例を元に説明を実施した。

割り付けは、直交表の外側を使用して、B列に信号を割り付ける。後の列に誤差を割り付けてSN比を求める方法。JISZ9090を参照。

⑥研究会の今後の予定

・出版記念講演会の開催。

人数がオーバーするので、研究会員は、後で紹介する。

田口伸氏が、日本に来れる日で、候補日。

10/1(土)、に参加出来ない方に実施する。

・中品協改善事例発表会

山口さんの、昨年トヨタで発表した事例。

・関西との合同研究会 8/5日(金)

参加予定と場所時間を、大見さんから、参加者に送付。

⑦テーマについて。

・APRT法の活用 井上、山口、牧野、舟山

・エネルギー型SN比 城越、合田、石上

・L12近直交表の研究 杉浦、佐藤、梅本、大見、横尾

・バーチャル設計の意味 三浦、則尾、伊藤

5. 事務局連絡

・2015年度会計報告

・議事録の作成を早くする提案。

7. 次回案内

日時 2016年8月6日(土)

場所 ITEQ本社